

コロナ禍を支える医療機器メーカーとして徹底した感染対策を

企業データ	本社・拠点	埼玉県さいたま市西区中釘 652
	業種	製造業
	従業員数	従業員 : 85名 (男性 : 57名 女性 : 28名)
	資本金	1,000万円
	事業概要	医療機器 / 動物用医療機器の製造及び輸入



医療機器メーカーとして
従業員が一体となり
感染防止に取り組んでいます

通信環境の改善による効率化

新型コロナウイルス感染症拡大の防止策として、社員同士の3密回避に積極的に取り組んでいます。その中で特に大きな効果をもたらしたのは、通信環境の改善です。今回新たに社内ネットワークにWi-Fiを導入し、さらに個人に貸与しているPCもデスクトップ仕様のものからノートPCへと変更しました。

これまでは、LANケーブルの接続が必要なことや、デスクトップPCでは持ち運びに困難であることから、PCを操作できる場所は限られていました。

しかし、Wi-Fi及びノートPCの導入によって、どの場所からでもPCを操作することが可能となりました。その結果、社員同士の3密を防止できたほか、情報共有がスムーズに行えるようになったことで効率化にもつながりました。



従業員の安全が最優先

その他の取り組みとして、従業員に対し、通勤時における社用車及びレンタカーの貸与も行いました。元々電車通勤を行っている従業員は10名ほどでしたが、不特定多数の人が利用する公共交通機関では感染のリスクが高いため、車通勤を推奨しました。現在では5名ほどが車通勤を実施しています。費用は取り組む前と比較してやや増加していますが、従業員の安全を最優先とし、当面の間はこの取り組みを継続する見通しです。

また、販売会社等、外部との打合せにおいては、お互いの感染リスクを減らすため、できる限りオンラインミーティングを導入しました。さらに、これまでは直接会場に出向いて実施していた展示会も、オンラインでの出展で参加しました。

医療機器メーカーとしての使命感

感染対策への取組に至った経緯として、当社が医療機器メーカーであることが発端となっています。医療機器を提供する企業としての使命感から、

従業員の中で感染者を出さないよう、企業全体で最大限の努力が必要であると感じ、取組の実施に至っています。

さらに従業員に対しては、医療機器メーカーの一員としてより一層の注意を払うよう指導し、マスクの着用やこまめな手指消毒を促しています。その効果もあり、従業員それぞれが自身の行動に気を付け、休日でも人が多く集まる場所を避けてくれるようになりました。

一方で、新型コロナウイルス感染症による影響や対策がいつまで続くか分からない状況の中、精神的な疲労によりモチベーションが低下しないようにすることが課題となっています。

今後の方針としては、新型コロナウイルス感染症の患者さんが使用している医療機器も製造していることから、ニュースなどで当社製品が映っている場面などは積極的に社内に共有することで従業員それぞれのモチベーションを維持・向上できるように努めていきたいと考えています。

社員からの声

- ◆電車通勤での感染リスクが軽減すると思うので、安心感があります。
- ◆普段運転しなかったが、うまく運転できるようになりました。
- ◆従業員のことを大切にしてくれる会社なので、長く働きたい。

